

市の事業紹介

進んでいます

進めています

市は、私たちのまち『のぼりべつ』が市民のみなさんに愛され、共に暮らす喜びを見いだせるまちにするため、さまざまなまちづくりを進めています。今号では、市内で行われている主な事業の経過をお知らせします。

1 登別富浦路線歩道整備事業

問い合わせ 土木課 (☎⑤3260)

平成7年度から、登別富浦路線のNTT登別東電話交換所付近から登別川に架かる登別橋までの区間1,330^米の歩道整備を行っていました。

平成11年度までは登別橋付近までの歩道の拡幅を行い、平成12年度は登別橋の下流側に架かる歩道橋の架設を行いました。平成13年度は、歩道の拡幅・バリアフリー化や歩道橋の舗装などを行い、12月中にすべての工事が完了する予定です。

(平成13年度事業費は、3,030万円)



◀10月22日に完成した「登別橋歩道橋」



2 地域イントラネットの整備

問い合わせ 情報推進課 (情報政策)
(☎⑤5109)

高度情報通信社会への対応を目指し、平成12年度から情報通信基盤整備を行っています。

市内すべての小・中学校や市役所などの公共施設、商工会議所、日本工学院北海道専門学校など37施設に光ファイバーを敷設し、ネットワーク化を進めています。

また、登別中央ショッピングセンター・アーニスの一部を活用し、子どもからお年寄りの方まで、だれもが気軽にパソコンなどに触れ、体験し、学べる施設として『登別市地域情報センター』を11月3日(土)にオープンしました。

(平成12・13年度の地域イントラネット基盤整備事業費は、4億5,357万円、平成13年度の地域情報センター維持管理経費は、889万円、登別温泉小・中学校ネットワーク構築事業費は、1億円)



◀11月3日にオープンした「登別市地域情報センター」

3 福祉マップの作成

問い合わせ 社会福祉課 (☎⑤1911)

ノーマライゼーションの理念に基づき、障害をもつ方や高齢者など、さまざまなハンディキャップをもつ方たちの行動範囲を広げ、充実した社会生活の実現を図るため、バリアフリー情報を集約した『福祉マップ』の作成を行っています。

『福祉マップ』は、障害者団体や登別市社会福祉協議会、ボランティア団体などの代表者と、一般公募による市民で組織する市民会議を開き、市内のスーパーやレストランなどの店舗や病院、金融機関などの段差の状況や点字誘導ブロック・駐車場の有無などをアンケート調査や現地調査を行い、調査結果をまとめ、平成13年度末までにマップを完成する予定です。(事業費は、125万円)



◀アンケート調査の結果をもとに話し合われた「福祉マップ」を作成した市民会議

4 人と自然のふれあい拠点整備

問い合わせ 社会教育課 (☎⑤1129)

鉱山地区の豊かな自然を活用し、市民の憩いの場、青少年の自然環境教育の場として、平成11年度から整備を行っています。平成11年度は、生態観察学習施設(魚道)の実施設設計や宿泊体験学習施設(ネイチャーセンター)の基本設計などを行い、平成12年度には、魚道の設置工事やネイチャーセンターの実施設設計などを行いました。

平成13年度は、ネイチャーセンター建設工事のほか、ネイチャーセンターの一部として活用する市民研修センターの改修などを行い、平成14年4月にオープンする予定です。これにより、人と自然のふれあい拠点整備はすべて完了する予定です。(平成13年度事業費は、4億2,225万円)

▼建設中の(仮称)ネイチャーセンター

